

# 平成28年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 和歌浦小学校
校長氏名	福田 佳武
作成日	平成 29年 3月 1日

## 1 教育目標

健康なからだ、確かな考え、豊かな心をもち意欲的に活動する子どもを育てる

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<p>○地域の文化・人材等を活用するネットワークづくりに取り組む。</p> <p>○保護者や地域の方々との連携をさらに深め、信頼される学校づくりを進める。</p> <p>○学校関係者評価委員、学校評議員と連携し、よりよい教育活動につなげる。</p>	<p>○あいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」などに進んで取り組む態度を育成する。</p> <p>○読書活動の充実をはかる。</p> <p>○道徳の指導を充実させ、児童の実態に応じた判断力・行動力を養う。</p> <p>○特別支援教育の推進に努める。</p> <p>○人権意識向上に向け、教育活動全般を通して取り組みを行う。</p>	<p>○「自分の考えや思いをしっかりと表現できる」魅力ある授業づくりをめざす。</p> <p>○指導方法の工夫・改善をはかるため、教職員の研修の場を大切にする。</p> <p>○基礎学力の向上のため「紀州っ子学びノート」も活用し、家庭との連携を進める。</p> <p>○「家庭学習の手引き」を保護者に配布し、家庭学習の大切さを呼びかけると共に、自主学習に家庭の協力を仰ぐ。</p>

取組の状況【D】	<p>学校だよりを校区の方々へ回覧することを通して、地域の方々へ本校教育への協力をお願いした。</p> <p>また、学校関係者評価委員会・学校評議員会からの提言を教育活動に反映させ、学校改善に取り組んだ。</p>	<p>学校だより等であいさつや「早ね 早おき 朝ごはん」などの基本的な生活習慣について、さらなる定着をはかるとともに家庭・保護者への啓発にも努力した。</p> <p>道徳の時間の充実のため、教材の工夫や整備に努めた。</p> <p>特別支援学級開級式、集会発表、交流学习、学年別人権集会などあらゆる機会を通して人権意識の向上をはかった。</p>	<p>児童の実態をしっかりと捉え、一人ひとりに応じた楽しくわかる授業づくりの実践研究に取り組んだ。</p> <p>教職員の実践力の向上のため、一人一授業提案を行い、授業研究を軸に様々な研修を計画的に実施した。</p> <p>基礎・基本的な学力の定着のため、家庭・保護者との連携を密にし、自主学習ウィークを利用して子供達が課題意識を持って学習にとりくめるように啓蒙を図った。</p>
取組の成果と課題【C】	<p>学校行事等到大勢の方が来校していただいた。特に、学校開放月間には大勢の来校者があった。また、育友会主催の「子どもまつり」は、全校のほとんどの児童が集い、保護者・地域の方々の協力で楽しい取り組みとなった。</p>	<p>担任とともに、朝の掃除に毎日取り組む中で、子どもたちに豊かな心が育ちつつある。ただ、あいさつは学校評価アンケートで児童は2割近く、保護者は4割近くが否定的な回答で、課題となっている。道徳は、各学年の実態に応じて取り組み、適切な教材を工夫しており、ある程度の成果があった。</p>	<p>本校児童は概ね、基礎基本については、ある程度の力を発揮している。しかし、応用や記述する問題を課題とする傾向があり、書くことを苦手とする児童が多い。自分の考えを発表する力や友達と協力して課題に取り組む力の育成が今後の課題である。</p>
次年度に向けての改善方法【A】	<p>子どもたちが地域の中で育っていくために、地域の方々へ身近にふれあえる機会をつくり、ゲストティーチャーにお招きするなど地域の方々の協力を得て、教育活動の充実につなげたい。また、本校教育を保護者や地域の方々にわかりやすく、具体的に発信し、さらなる理解と支援をいただきたい。</p>	<p>読書活動をさらに定着させるため、うちどく文庫、図書室、学級文庫の充実をはかっていきたい。また、課題となっているあいさつは保護者・地域とさらに連携し、あいさつの大切さを意識した教育活動に力を入れたい。子どもたちの心に響く道徳教材を活用し、指導方法等について研究を深めたい。</p>	<p>表現する力や活用する力の育成には、授業の工夫やグループ学習、ペア学習などの学習形態の工夫するとともに、習熟学習などを積極的に取り入れたい。さらに、学習活動の積み上げをはかるため、家庭と学校が連携し、家庭学習の定着についての取り組みを進めたい。</p>

## 3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の校内支援体制の整備に努力した。和歌山大学から特別支援教育専攻科学生の協力を得て、校内支援体制が徐々に進展しつつある。ケース会議や事例研修会を開くことで、教師個々の力量向上に努めたい。</li> <li>・不登校児の早期発見・早期対応に努めたい。現在5名不登校児があり、こども総合支援センターや関係機関と連携して取り組みを進めている。今後も、教育相談委員会を定期的に関き、組織的に対応できるような取り組みを進めたい。</li> <li>・子どもたちに、豊かな自然と歴史・文化に恵まれた和歌浦を誇りに思えるよう地域に根ざした教育活動を展開する。</li> <li>・児童、保護者、教職員の防災意識を高めるとともに、防災学習や避難訓練を通して、防災教育や防災管理の充実にさらに取り組みたい。</li> <li>・「わかうら見守り隊」の方々との連携をはかり、安心・安全な学校生活・地域生活に向けてのさらなる取り組みを進めたい。</li> </ul>
---